

青少年相談員用 ソフトドッジボール交流大会ルール

【2017.6】

1. コート

バドミントンコート [6.1m×13.4m (片面 6.1m×6.7m)] を使用します。

2. 使用球

ソフトバレーボールを使用します。

3. 試合時間

2分間の2セットとします。(セット間の休憩時間は特にとりません)

4. 試合形式

リーグ戦とします。(対戦組み合わせは事前に事務局が行います)

5. チーム編成

- (1) 1チーム6人以上10人までとします。
- (2) 学年・男女混合でもかまいません。
- (3) 大会の途中で、他のチームへ移ることはできません。また、他のチームと兼ねて出場することはできません。

6. 試合の流れ

- (1) 選手は必ずゼッケンをつけてください。(ゼッケンは事務局で用意しています。)→各コートに2種類の色の異なるゼッケンがあります。召集係は次の試合チームをコートサイドに召集します。
 - ① ゼッケンを渡し、王様登録カードに記入させます。
 - ② 記入終了後、見えないように二つ折にして記録係に記入したカードを渡すように指示してください。
 - ③ 上記指示終了後、次試合チームを召集してください。
- (2) 試合前に各セットの「王様」1名を決めて、カードにゼッケン番号を記入し、記録係に渡します。王様はセットごとに変えてもかまいません。→記録係は、王様登録カードを各チームから受け取った後、王様係へ渡します。
- (3) じゃんけんでコートまたはボールを選択します。→第1セット終了後にコートチェンジを行います。第2セットのボールは負けたチームから、引き分けの場合は、前のセットと反対側のチームの内野から始めます。主審から内野にボールを渡してセットを開始してください。
- (4) センターラインをはさんで整列し、試合前のあいさつをします。→試合中の飲食は禁止です。ガム等かんでいる場合等はきちんと指導してください。
- (5) 元外野は3人以内とします。元外野の選手は内野に入る時、手を上げて副審に告げてから入ってください。→王様係は記録係から各チームの王様登録カードを受け取り、試合開始前に、王様が外野にいないこと、王様のゼッケン、および元外野のゼッケンを副審と確認して試合準備OKの旗を上げてください。→線審は自分の2辺のラインと観客との安全な間隔を確認して、試合準備OKの旗を上げてください。(※線審は事前にご了承いただいた保護者や引率のかたにもお願いしています。⇒協力者がいらっしゃった場合、試合前に線審についての簡単

な説明をお願いします。)

→主審は王様係・線審の旗を確認し、時間係に開始を告げ、試合を始めます

(6) 勝敗の決定等その試合の運営は全て主審が行います。主審の指示に従ってください。

(7) センターラインをはさんで整列し、あいさつをして試合終了となります。

7. ルール

(1) 攻撃とアウト・セーフ

- ① 内野の選手が相手のノーバウンドの投球をとることができなかつたり、当てられた場合にアウトになります。(すみやかに外野に移動してください。)
- ② 相手が投球したときにファールがあった場合、当たってもセーフです。
- ③ 1度のノーバウンドの投球で2人以上当たった場合は、当てられた全員がアウトになります。
- ④ 1度味方に当たったボールを、味方がノーバウンドでとった場合は、その当たった選手はセーフです。ノーバウンドで相手にとった場合はアウトです。
- ⑤ 顔や頭にボールが当たった場合もアウトになります。
- ⑥ 外野に出た選手は、相手の内野をアウトにすれば内野に戻ることができます。その場合は、すみやかに内野に移動してください。後で戻ることはできません。

(2) ファールとボールの支配権

① ラインクロス

- ボールを投げる時 ラインを踏んではいけません。相手の内野ボールとなります。特にボールを投げた後の一連の動作中に、足や身体の一部がラインに触れるファールが多く見られますので注意してください。
- ボールを取るとき ラインを踏んではいけません。相手の内野または外野ボールとなります。

② ホールディング

相手のコートに転がっているボールをかき寄せてはいけません。(空中はOK。)
ボールのあったところのボールとなります。

③ タッチ・ボディ

試合中、わざと相手の選手にふれてはいけません。相手の内野または外野ボールとなります。(相手の身体に触れずに、ボールを取ったり、はたいたりして相手ボールを自分のものとすることはできます。)

④ インテンショナル・ファール

故意のファールは相手の内野ボールになります。

- アウトになった選手が、その直後に内野の中でボールに故意に触ったとき。
- 故意にボールを足で蹴ったとき。
- その他、試合の円滑な運営を妨害する行為があったとき。

(3) 王様ルール

- ① 元外野が王様になることはできません。各セット開始前に副審が確認します。
- ② 相手がラインクロスして投げたボールが王様に当たり、王様が自分で手をあげ、王様が誰なのか相手チームに知られてしまった場合等は、王様の決め直しをして、続きのセットを行う等、主審が判断して試合を続行します。【「8. 勝敗 (1)」関連】

(4) 上記以外の項目については、その都度大会本部（審判長）が決定します。

8. 勝敗

- (1) 各セットは、制限時間内に「王様」にボールを当てたチームの勝ちとします。
※王様は、当てられたときは手をあげてください。
- (2) 相手チームより多くのセットを取得したチームが勝ちになります。
- (3) 2セットで勝敗が決まらなかった時は、引き分けとします。

(表1) AチームとBチームの勝敗（数字は取得セット数）

Aチーム	Bチーム	勝利チーム
2	0	A
1	1	引き分け
1	0	A
0	2	B
0	1	B
0	0	引き分け

9. ブロックチャンピオンの決め方

各ブロックの1位はブロックチャンピオンとして閉会式に表彰されます。

ブロックチャンピオンは勝ち点により決定します。勝ち点は次のとおり。

勝利：3点、引分：1点、負け：0点

勝ち点と同じチームがブロックに複数ある場合は、下記の方法で順位を決めます。

- (1) 2チームの勝ち点と同じ場合、2チーム間の対戦結果の勝ちチームが上位とします。
対戦結果が引分の場合は、下記のように順位を決定します。
 - ①獲得セット数の多いチームを上位とします。
 - ②獲得セット数が同一の場合は、チーム代表者1名がじゃんけんを行います。
- (2) 同じ勝ち点のチームが3チーム以上の場合、以下のとおりとします。
 - ①獲得セット数の一番多いチーム順。
 - ②獲得セット数が同一の場合は、チーム代表者1名がじゃんけんを行います。

(表2) AチームとBチームの勝敗と勝ち点（数字は取得セット数）

Aチーム	Bチーム	勝利チーム	勝ち点
2	0	A	Aが3点
1	1	引分	Aが1点・Bが1点
1	0	A	Aが3点
0	2	B	Bが3点
0	1	B	Bが3点
0	0	引分	Aが1点・Bが1点

10. 審判・オフィシャルについて

主 審（1名）：試合開始・終了および勝敗の決定等、全ての試合運営を行います。

その他、試合開始/終了の挨拶やボールの管理等を行います。

→主審は大会の目的(親睦・豊かな心の育成)を考慮し、安全を第一に公平な毅然とした態度で試合に臨んでください。

疑義が生じた場合、時計を止めて両チームの選手にきちんと判定理由を説明して

ください。

- ① 主にアウトの判定を行います。なかには当たっても外野にでない選手もいますので、当たった場合は、線審・副審の旗が上がっていない（ラインクロスでない）ことを確認し、笛を吹いてください。
- ② ラインクロス等のファールがあり旗が上がっても、相手選手が獲った際等、笛を吹いてもゲームの流れが変わらない際は、手を横に上げて、試合を続行させることができます。
- ③ ファールの際は笛を吹き試合を止め、主審にボールを戻させるか、確実に再開場所を口頭で指示し、笛を吹いて試合の再開を周知させてください。
- ④ 観戦者等の抗議に際しても、試合の運営責任者として毅然とした態度で対応してください。
- ⑤ ルール等に疑義が生じ、主審が必要と判断した場合は、審判長の判断を仰いでください。
- ⑥ 線審は事前にご了承いただいた保護者や引率のかたにもお願いしています。もし協力していただけるかたがいらっしゃいましたら、試合前に線審についての簡単な説明をお願いします。※どの試合に協力者が入るかは当日資料にてお知らせする予定です。

副 審（1名）：主審の補佐を行います。試合開始前の「王様」および元外野の確認。センターラインのラインクロス判定を行います。

元外野が内野に入るときの確認など、元外野の管理をします。

→副審は試合前の王様・元外野の確認、主審への助言、センターラインのラインクロス判定を行ってください。

- ① 試合開始前に、各チームの王様登録カードをもとに、王様が外野にいないこと、王様のゼッケン、および元外野のゼッケンを王様係と確認してください。
- ② 主審が気づかなかつたファール等の場合、旗をあげ笛を吹き、主審に内容を告げてください。センターラインのラインクロスの際は旗のみを上げてください。
- ③ 元外野が内野に入る際の確認を行ってください。手を上げない元外野がいた際には、手を上げるように選手に促してください。また、外野から内野への不正な入場を発見した際には、主審に告げ時間を止め、厳重に注意してください。

線 審（2名）：自分の2辺のライン判定をし、ファール（線を踏むまたは踏み越える）があったときは旗をあげ、笛を鳴らして主審に知らせます。

※ラインズマンとも呼びます。

※線審は事前にご了承いただいた保護者や引率のかたにもお願いします。

→線審は自分の2辺のラインのファールの監視と、安全確保のため観客がラインに近づき過ぎないように注意を行ってください。

- ① 試合前に、自分の2辺のラインと観客との安全な間隔を確認して、試合準備OKの旗を上げてください。
- ② ラインクロスの際には旗を上げてください。主審が気づかずにアウトにした際は旗を振り、笛を短く数度吹き、主審にアピールしてください。
- ③ ラインクロスの判定は、足や身体の一部がラインに触れたときです。空中で手がラインを越えたり、頭がラインを越えてもファウルになりません。
- ④ 予選の第1試合ではラインクロスが頻繁に発生しますが、根気よく毅然としたファール判定をしていくことが肝心です。選手達は学習します。第2試合目以降、ファールは確実に減っていきます。公平な基準における判定は、大会目的

に沿うものですし、観戦者からのクレームを減らす意味でも効果が大きくなります。

時間係（1名）：試合時間計測をします。

→時間係は主審の合図で時間管理をします。途中で時計を止める際には、原則として主審から指示がありますが、指示がなくても判定の説明等に時間を要した際には、時間係が適宜判断して試合時間が2分になるように管理してください。2分経過した場合は、笛があれば長い笛で、なければ大きな声でセット終了を教えてください。

記録係（1名）：試合前、各チームから王様登録カードを受け取り、王様係へ渡します。

試合後、勝敗を記録し、本部に連絡します。

→記録係は試合の記録を記入し、各試合終了後、本部に結果を報告します。

- ① スコア表に、コート名・試合数・各チーム名・ゼッケンの色を書きます。
- ② 事前に各チームから王様登録カードを受け取り、王様と代表者のゼッケン番号をスコア表に記入します。
ただし、不正防止の観点から、周囲の目には十分注意して記入してください。
- ③ 試合開始前に、王様係に王様登録カードを渡します。
- ④ スコア表の様式に従い試合結果を記入してください。セット数は順位決定の際に必要な可能性がありますので、忘れずに記入してください。
- ⑤ 試合終了後、王様係と協力して結果を本部まで報告してください。

王様係（1名）：記録係から王様登録カードを受け取り、試合中に王様がアウトになったときに笛を鳴らします。

→王様係は試合前に記録係から王様登録カードを受け取り、試合中王様のゼッケン番号の選手がアウトになった場合に旗をあげ、笛を吹き、周囲に知らせます。

- ① 記録係から各チームの王様登録カードを受け取り、試合開始前に、王様が外野にいないこと、王様のゼッケン、および元外野のゼッケンを副審と確認して試合準備 OK の旗を上げてください。
- ② 試合中、王様登録カードは観戦者等に見られないように注意します。
- ③ 王様が当たり、線審・副審の旗が上がっていない（ラインクロスでない）場合、旗をあげ、笛を鳴らします。

11. 注意事項（特に注意していただきたい点）

- (1) 試合当日は練習ボール（マイチームボール）の持ち込みを禁止します。
- (2) 上履きのまま外へ出ないでください。
- (3) ライン付近のボールを手で搔きよせるのは×。空中は○。
- (4) 準備運動を十分に行ってから試合に臨んでください。【けがの予防】
- (5) 次の試合があるチームは、コート脇で待機する等相談員の指示に従ってください。
【スムーズな試合進行】
- (6) 帰宅するまでの交通ルールを守ってください。【家に帰るまでが大会です】